

製品名: KIF5B ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02193**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.16mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 110 kDa; Observed MW: 110 kDa

抗原情報

遺伝子名	KIF5B
別名	KNS; KINH; KNS1; UKHC; HEL-S-61
遺伝子 ID	3799
SwissProt ID	P33176
免疫原	ヒト KIF5B の合成ペプチド

背景

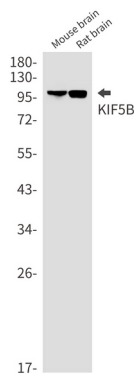
ミトコンドリアとリソソームの正常な分布に必要な微小管依存性モーター。ZFYVE27 依存的に、非神経細胞において神経突起様膜突

起の形成を誘導することができる。有糸分裂期開始時の中心体と核の配置を制御する。細胞周期の G2 期には、BICD2 依存的にダイニン機能に拮抗し、核と中心体の分離を促進する (PubMed:20386726)。軸索伸長における MAPK8IP3/JIP3 機能に必須の MAPK8IP3/JIP3 の順行性軸索輸送に必要である。

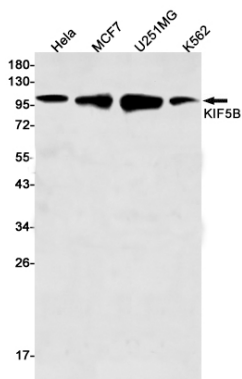
研究分野

シグナル伝達

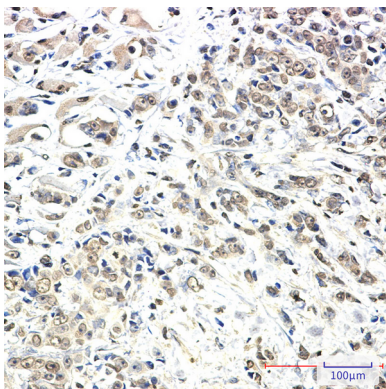
画像データ



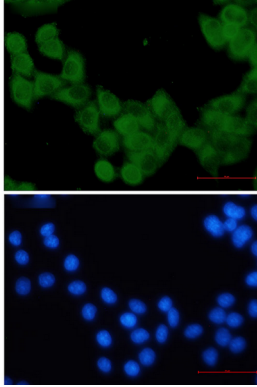
KIF5B 抗体を使用したマウス脳、ラット脳溶解物中の KIF5B のウエスタンブロット分析。



KIF5B 抗体を使用した HeLa、MCF-7、U251MG、K562 溶解物中の KIF5B のウエスタンブロット分析。



KIF5B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



KIF5B 抗体と DAPI (青) を使用した HeLa の KIF5B (緑) の免疫細胞化学分析。